



2010.3.5

No. 194

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ぼくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

非正規労働者の処遇改善に向けて

7業界団体、地方自治6団体に要請行動

わが国は就業者の8割が雇用労働者で占める雇用社会であり、雇用労働者が文字通り、日本の社会を支え、社会保障を支え、消費の主役となっている。

しかし、この間、効率と競争最優先の市場原理主義が横行するなかで、この10年間で正規雇用者は302万人減少する一方で、非正規雇用者は474万人増加し、現在、雇用労働者全体の3分の1を超えるに至っている。また、有期雇用という不安定な雇用状態に加えて、年収200万円以下の就労者が大多数を占めている。

このような非正規労働者を中心とする働く貧困層は、民間部門だけでなく全国で約60万人にものぼる公共サービスを担う直接雇用の非正規職員や、地方自治体の仕事を担う民間労働者にも拡大しており、地方自治体は率先して不安定雇用労働者や働く貧困層を解消しなければならない。

連合北海道は、非正規労働者の処遇改善に向け、2月25日に食品産業協議会など7業界団体へ、そして2月26日には地方自治6団体に要請行動を行った。

特に、官製ワーキングプア解消に向けた取り組みは、2月26日を全道一斉統一行動日と設定して、各地協に



自治体への要請行動を呼びかけた。

この結果、全道179市町村のうち、76市町村で実施の報告があり、他も実施に向けて検討中の報告が届いている。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0225_workingpoor.html

連合北海道・ユニオンアカデミー

開校式・第1回学習会を開催

連合北海道の「ユニオンアカデミー」開催企画のモデル実施として、「ユニオンスクール渡島」の開校式と第1回学習会が2月20日(土)13:30より、函館パークホテルにおいて行われた。

2～3年以内の新任役員研修と今後の役員を担う人材育成を主たる目的に開催されたスクールには、18名が参加。連合北海道・斎藤組織対策局長を講師に進められた学習会は、緊張感で堅い雰囲気解すゲームで始まり、労働組合のABC、「労働組合かるた」を使った用語と解説の確認、視聴覚を通じて闘争の現実を学

ぶ等々、常にグループワークによる討論を基本に、自らの意見と主張と他の人の意見を聴取するという形で進められた。

進むにつれて、最初のこわばった表情は徐々に和らぎ、仲間意識が高まると同時に、一つの課題に全員が積極的に考え方を述べたり討論したりと、会場は熱気溢れるムードに。

受講者の真剣で鋭い態度に、講師が答えに迷って電話で確認するハプニングもあったり、DVDで流される労働組合の長期にわたる闘争と支援体制に感動

するなど、予定された4時間が瞬く間に過ぎていた。

学習会終了後の懇親・交流・意見交換会で全員にマイクを渡し、感想や意見・要望を聞いたところ、

- 初めて参加したが考えていたより解り易く楽しかった。
- 今後の2回目(5月予定)・3回目(8月予定)も是非参加したい。
- 「労働組合かるた」を使う等の工夫で、楽しく学ぶことができた。
- 今後は、「何故?」の疑問解消や、団体交渉のやり方等々についても知りたい。
- 今後の活動の励みになった。更に学習を積み重ねて行きたい。

等々、ほぼ全員が次回以降も自らの意志として参加したいとの気持ちが語られた。

具体的に、現状の職場で起こっている課題について



斎藤局長が相談を受ける場面もあったり、今まで顔も見たことのない組合員同士が談笑したり、次回また同じグループで頑張ることを約束し合ったりと、終始賑やかで和気藹々の中で懇親会も終えることができた。

なお、「ユニオンスクール渡島」は年3回の学習会を開催することとなっており、連続受講でワンサイクルとしていることから、計12時間で終了表彰を手交することとなっている。

今、管内の労働組合での後継者(人材)の育成は、大きな課題の一つでもある。

職場にある小さな疑問や、労働組合がより身近な存在となるためにも、継続した学習活動を積み重ねる中から、今後の役員が育ってくれる取り組みに全力を挙げたい。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0220_uion-academy_hakodate.html

エコキャップ運動で学校訪問

渡島地協「小さな取り組みから大きな取り組みへ」

身近で手軽にできる運動として定着の兆しを見せ始めている「エコキャップ運動の取り組み」で、各学校からの問い合わせや持ちこみが急増している。

労働組合はもとより、学校や病院、町内会、各団体でも積極的にエコキャップの収集を行っているものの、どこへ持ち込めば良いのか、どこへ送付すればよいのかが良く理解されていないことや、送付料金が思っている以上に嵩むことなどから、連合渡島地域協議会事務局に連日のように問い合わせが寄せられている。

特に、市内各小学校での取り組みは積極的なものであり、校長や教頭先生が先頭に立って取り組む学校や、生徒が自主的に取り組んでいる学校等など、取り組み方は各々でも定期的に連絡をくれる学校も増えて来ている。

2月22日には「宇賀の浦中学校」からの連絡を受けて、連合・荒木会長が訪問。この間、生徒が集めたおおよそ80kgのエコキャップが生徒代表から荒木会長に手渡され、会長は、取り組みに対する御礼の言葉を述べるとともに、



今後も継続した取り組みを行って頂くよう要請を行った。

小さな取り組みから大きな取り組みへ。小さなキャップが大きく集まれば、人の命を救うことの意義が生まれる。地道な活動ではあるが、渡島地域協議会は今後もこの取り組みに力を注いでいきたい。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/monthly/2010/monthly_new_2010_0222_ecocap_oshima.html

2010年度(平成22年度)北海道予算案について

連合北海道事務局長 村田 仁

1. 2010年度道予算案が2月17日、発表された。この予算案は、高橋道政2期目としては最後の政策予算となるもので、経済・地域・環境を重点政策の3本柱に据え、「人と地域が輝き、環境と経済が調和する、世界にはばたく北海道」をめざすとしている。

2. 一般会計の規模は前年度より2.0%少ない2兆8,181億円で、歳出面で前年度と大きく異なる点は、公共事業費が966億円・約22%減少する一方、中小企業対策や雇用対策等の予算である一般施策事業費が約15%増えて、5,978億円となっている。これは、国の公共事業予算が削減される中で、国の雇用対策予算等の拡充を反映したものであると受け止められる。

歳入面では道税収入の落ち込みを補うため、当初予算で6,879億円にのぼる道債を発行するなど依然、借金頼みの財政運営が続いているが、補正予算で道債を繰り上げ償還することで公債依存度を24.4%に抑え、早期健全化団体の指定回避を図っている。

3. 連合北海道が最も充実・強化を期待する雇用対策については、既存の緊急雇用創出事業に加え、人手不足や重点分野の雇用創出・人材育成等を目的に国が新たに創設する「重点分野雇用創造事業」の交付金73億5千万円を活用することとしている。

課題は、地域の雇用状況の改善につながるよう、いかに実効をあげられるかである。

4. 2010春季生活闘争の前段行動としてこの2月に連合北海道は、市町村役場や商工関係団体、高等学校、農協や漁協など91カ所を訪問して、新規学卒者の就職支援や雇用の維持・創出に関する要請および意見交換を行う全道キャンペーンを展開してきた。

この取り組みを通じて明らかになったことは、国や道の雇用対策事業を実施するにあたり、事

業主体の市町村や委託先企業・NP0ならびに関係機関・団体などとの間で課題を共有し、地域実情に応じた支援と連携を実現することである。道には、地域の関係者とともに汗をかき、積極的に地域の雇用政策をコーディネートする役割を果たすことが求められる。

5. 低迷する道内経済を活性化するためには、地場産業の振興や雇用の維持・確保、地域の医療・福祉・教育を確保することが、まさに「人と地域が輝く」ための基盤である。だが、雇用環境の改善は進まず道民所得は低下する一方である。依然として医師不足など、地域の医療提供体制の縮小に歯止めがかかっていない。

地域医療に関する新年度事業では、国の地域医療再生基金による事業予算が組まれるなど、地域の医療提供体制の確保に向けた諸事業が盛り込まれている。地域医療に関して連合北海道は、市町村や地域住民の参加と連携を繰り返し求めてきたが、今後、道の事業展開においては、その姿勢をより強く打ち出すことが求められる。

6. 政権交代の背景には、行き過ぎた格差と二極化した社会のもとで、地域の疲弊や勤労者の生活破壊に対する国民の怒りがあった。連合が訴え続けてきた政策転換は、ようやくその端緒につき、鳩山政権には地域や人を大切にする政治が期待されている。このような期待は国政のみならず道政にも向けられており、道はそうした期待に応えるよう実効ある予算の執行が求められる。

連合北海道は、道議会議員団会議や民主党北海道と連携し、引き続き本道経済の活性化と再生、雇用対策の拡充、勤労道民のセーフティ・ネットの確立に向け、産別、地協・地区連合はもとより広く地域住民とともに道民運動を強化する。

おめでとうございます! 新春パズル 当選者決定

「MONTHLYれんごう北海道」新春号(□ 192)の、パズル(ナンバープレス)当選者が決まりました。

応募者数36名より厳正に抽選の結果、下記の20名の方が当選となりました。

宮島聡さん(電力総連)／水野哲和さん(サービス連合)／
山田政美さん(基幹労連)／小松奈々さん(自治労)／
堀越康志さん(森林労連)／藤野久志さん(UIゼンセン同盟)／
佐々木裕美さん(運輸労連)／太田美香さん(サービス・流通連合)／
／三國玲子さん(JP労組)／二瓶浩一さん(全国ガス)／
杉村政彦さん(森林労連)／湯浅雅義さん(全国ガス)／
山崎明裕さん(自治労)／米山康裕さん(国公連合)／
馬場孝夫さん(JP労組)／野村康貴さん(自治労)／
今野昭二さん(国公連合)／石田敦子さん(北教組)／
渡辺真さん(全国ガス)／佐藤貴子さん(自治労)

新春パズル回答

2	1	5	8	3	7	4	9	6
8	4	9	6	2	5	3	7	1
3	6	7	4	9	1	5	2	8
6	9	8	5	1	2	7	4	3
7	2	1	9	4	3	8	6	5
5	3	4	7	6	8	9	1	2
1	7	6	3	5	9	2	8	4
4	8	3	2	7	6	1	5	9
9	5	2	1	8	4	6	3	7



3月の主な動き

イベントカレンダー

- 経済6団体との労使懇談会
2日(火) 11:00 / 北海道経済センター
- 第6回中央執行委員会
4日(木) 13:30 / ホテルラングウッド
- 組織拡大担当者情報交換連絡会
5日(金) 15:00 / 連合北海道会議室
- 部門別連絡会議(資源・化学)
5日(金) 16:00
- 部門別連絡会(交通・運輸)
8日(月) 13:30 / 連合北海道会議室
- 全道メーデー第1回実行委員会
8日(月) 13:30 / 自治労会館
- 部門別連絡会(情報・サービス)
9日(火) 13:30 / 連合北海道会議室

- 第6回執行委員会
10日(水) 10:30 / 連合北海道会議室
- ブロック政策担当者会議
10日(水) 13:00 / ホテルニューオオタニ
- 第5回地協事務局長会議
10日(水) 16:30 / ホテルニューオオタニ
- 2010春季生活闘争総決起集会
10日(水) 18:00 / 札幌市民ホール
- 部門別連絡会(流通・食品)
19日(金) 13:30 / 連合北海道会議室
- ボランティア講座終了式
24日(水) 18:00 / KKRホテル札幌
- 2010年度連合政治研修会
25日(木) 13:00 ~ 26日(金) / 総評会館

連合北海道が推薦します

第22回参議院議員選挙
北海道選挙区候補予定者

藤川まさし

プロフィール

1956年7月15日生まれ。苫小牧市出身。札幌市在住。札幌市立二条小学校、札幌市立啓明中学校、北海道立札幌西高校、慶応義塾大学法学部を卒業。

1980年札幌市役所に勤務し、職員組合青年部長、組織部長、副委員長、書記長を歴任。1999年札幌市労働組合連合会書記長。2002年退職し、2003年札幌市議会議員(中央区)に初当選。現在2期目。2003年民主党北海道第1区総支部幹事長、2009年から札幌市議会民主党・市民連合議員会政審会長。

